

知ることからはじめよう

～六ヶ所村ラプソディ上映会～

まちかど特派員◎岡田裕子



「なちゆるら・まま」と協力された皆さん

6月30日(土)忍びの里ぷららで核燃料再処理工場を巡る長編ドキュメンタリー映画「六ヶ所村ラプソディ」が上映されました。

日本の総電力の約3割が原子力発電所で作られています。燃料は放射性物質のウランで、ある程度反応すると熱を出すスピードが落ち、効率が悪くなります。これが使用済み核燃料で、電気を作ることによって出る「核のゴミ」です。

全国にある原子力発電所55基から出る核のゴミを、再処理しようという計画があります。現在、青森県六ヶ所村の核燃料再処理工場は試験稼働していて、まもなく本格稼働する予定です。

鎌仲ひとみ監督は、3年間六ヶ所村に足を運び、賛成、反対双方の村人の現実をあるがままに映し出しています。監督に語っているであろう村人のそれぞれの思いは、そのまま私自身にも語られているようでした。

この映画は、信楽町の「自然育児サークルなちゆるら・まま」が、「子どもたちの未来はどうなるのか、切実な思いに駆られ、少しでも多くの人々に現実を知ってもらいたい。六ヶ所村の問題は遠いところのことではなく、私たちの暮らしそのものを問いかけるもの、一人ひとりが自分のできることはなにか、と問いかけながら日々を大切に暮らして行けたら。」という思いで自主上映企画したものです。

私たちが生活の中で欠かせないと思込んでいるものは、便利で快適という言葉とともに増えているのではないのでしょうか。知ること暮らしを見つめ直し、自分自身で選択していく、それは大きな1歩につながる小さいけれど大切な1歩だと思いました。

ようこそ甲賀市へ

～ミシガン州友好親善使節団来市～

滋賀県を訪問されたミシガン州友好親善使節団員20名のうち9名が本市を訪問、ホームステイを中心に7月26日(木)から7月31日(火)までの6日間滞在されました。

滞在期間中、初日に市役所にお越しになり、中嶋市長を表敬訪問された他、土山の茶園や忍術屋敷、ふれあい水口合宿で本市を訪れている三保ヶ関部屋の早朝稽古なども見学、日本の文化を甲賀の地で満喫されました。

また、訪問2日目となる27日(金)には、使節団に歓迎会が行われ、中嶋市長も出席、交流を深めました。また、歓迎会では、中嶋市長がお馴染みの法被を着て出席、法被のデザインを紹介しながら甲賀市をPRしました。



歓迎会では江州音頭も踊り、交流を深められました。



完成したアスファルトプラント



かんぴょう干し作業

特産品のつくり方を体得

～綾野小学校かんぴょうむき体験～

7月25日(水)綾野小学校で「水口かんぴょう」をむく作業体験が行われました。

この日は4年生約50人が集まり、ユウガオの実が白く細長いかんぴょうになる過程を学びました。

児童は、直径40cmもある大きなユウガオの実がどうやって細長い帯になるのか興味津々、まずは地元農家の方が機械を使って実演しました。

機械に据え付けたユウガオの実を回転させ、刃をあてたとたん、そこから白い帯が飛び出し、あっという間にできあがり、まさに職人の技、児童はあまりの速さにびっくりの様子でした。

児童はこの機械の操作も体験、勢い良く飛び出すかんぴょうを少し怖がりながらも、うまくむくことができました。

その後、全員でむいたかんぴょうを竹に掛けて干し、あとは乾燥させてできあがり待つのみ。2学期に自分たちで調理します。自分たちでむいたかんぴょう、楽しみです。



機械を使ってのかんぴょうむき作業

新名神で アスファルト プラントが完成

来春の開通に向けて着実に工事が進められている新名神高速道路で舗装工事に必要なアスファルトプラント(アスファルト製造設備)が完成、7月19日(木)に火入れ式が行われました。

完成したプラントは、同高速道路で使用するアスファルト合材を生産するための設備で、今回、草津田上インターチェンジと甲南トンネル間で舗装工事が始まることから建設されたものです。

火入れ式には中嶋武嗣市長をはじめ周辺五市の市長が出席、スイッチを押しアスファルトプラントに点火をしました。



火入れ式でスイッチを押す中嶋市長